

管内関係機関 担当者 様

感染症発生動向について

このことについて令和7年第31週(7月28日～8月3日)の動向をお知らせします。

定点あたり患者数(1医療機関当たりの平均報告数)

感染症の種類	県北保健所管内（平戸市、松浦市、佐々町）			長崎県	全国
	29週	30週	31週	31週	31週
インフルエンザ	0	0.33	0	0.16	0.30
新型コロナウイルス感染症	6.00	6.33	12.33	6.33	5.53
RSウイルス感染症	1.50	1.00	0.50	0.42	0.69
咽頭結膜熱	0.50	0	1.50	0.39	0.44
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	2.00	0.50	3.50	2.10	1.79
感染性胃腸炎	9.50	2.00	8.00	3.06	4.77
水痘	0.50	0.50	0	0.16	0.31
手足口病	0	0.50	1.00	0.26	0.63
伝染性紅斑	0	0.50	0	1.35	1.95
突発性発疹	0	2.00	0	0.42	0.34
ヘルパンギーナ	●3.00	●3.00	●3.00	0.97	1.92
流行性耳下腺炎	0	0	0	0.03	0.04
急性出血性結膜炎				0.13	0.01
流行性角結膜炎				3.50	0.90
細菌性髄膜炎	0	0	0	0	0.02
無菌性髄膜炎	0	0	0	0.08	0.09
マイコプラズマ肺炎	0	0	0	0.17	0.99
クラミジア肺炎	0	0	0	0	0.00
感染性胃腸炎(ロタウイルス)	0	0	0	0	0.00

急性呼吸器感染症 (ARI)	41.00	37.00	49.67	56.96	52.82
----------------	-------	-------	-------	-------	-------

●：警報レベル ▲：注意報レベル

【トピックス】

新型コロナウイルス感染症に注意しましょう。

新型コロナウイルス感染症の長崎県における第31週の報告数は323人で、定点当たり報告数は「6.33」で、7週続けて増加しました。地区別では、県北地区（12.33）、県南地区（10.20）、上五島地区（10.00）が多くなっています。年代別にみると、10歳未満（14.6%）、50代（13.6%）、60代（13.0%）の順に多くなっています。

今後も場面に応じたマスクの着用や手洗い、換気、三密の回避などの基本的な感染対策に努めましょう。

【トピックス】

感染性胃腸炎に注意しましょう。

感染性胃腸炎の長崎県における第31週の報告数は95人で、定点当たり報告数は「3.06」でした。地区別にみると、県北地区（8.00）、西彼地区（7.00）は、他の地区より多くなっています。

本疾患は、細菌又はウイルスなどの病原微生物による嘔吐、下痢を主症状とする感染症です。原因はノロウイルスやロタウイルス、エンテロウイルス、アデノウイルスなどのウイルス感染による場合が主流ですが、腸管出血性大腸菌などの細菌が原因となる場合もあります。手洗いの励行とともに、体調管理に注意して感染防止に努め、早めに医療機関を受診しましょう。

【トピックス】

腸管出血性大腸菌感染症に注意しましょう。。

腸管出血性大腸菌感染症は、O157やO26をはじめとした「腸管出血性大腸菌」による感染症です。主な感染経路は、菌に汚染された食品や患者の便で汚染されたものに触れた手を介した経口感染です。2日から9日の潜伏期間の後、腹痛・水様性下痢・血便などの症状を呈します。無症状の場合もありますが、発症者の約6%から7%が、溶血性尿毒症症候群（HUS）や脳症などの合併症を起こし、時には死亡することもあります。特に、抵抗力が弱い小児や高齢者等は注意が必要です。

例年8月に報告が多い傾向にあります。次の点に気をつけて感染予防に努めましょう。また、症状があるときは速やかに医療機関を受診しましょう。

○帰宅時やトイレ・オムツ交換の後、調理・食事の前には石鹸と流水で十分に手を洗いましょう。

○肉類を調理する際は十分に加熱しましょう。

○生肉を調理する際、器具は専用のものにするか、使用后すぐに十分な洗浄・消毒をしてから他の調理に使用しましょう。

○下痢症状のあるときは入浴は控え、シャワー浴または最後に入浴しましょう。

長崎県県北保健所 地域保健課 健康対策班

TEL 0950-57-3933